



[kei]
 1. ケイ (英語アルファベットの第11文字)
 2. 連続したものの (Jをはずして) 第10番目

ABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナー

Keep in touch/キープ・イン・タッチ…………… 連絡する

get in touch は受験英語にも登場した「連絡をとる」。これが Keep in touch になると、「(絶えずマメに) 連絡をとる」という意味合いになるのである。一連の **オウム真理教** 騒動の中、先月、日本外国特派員協会において英語で記者会見を行なった上祐外報部長は、麻原彰晃代表の所在を訊ねられた際に「I'm in touch with him. ((私は彼と連絡をとっている))」と回答していた。でもここまで **深刻** そうな連絡(?) でなくても、私たちはお友達同志で軽〜く使っちゃいましょう。

・ I'm gonna miss you, but keep in touch, OK?
 (あなたがいなくなると淋しいわ。でも必ず連絡ちょうだいね)

Keep the change/キープ・ザ・チェンジ…………… 釣りは取っという

海外で買物をしたり食事をしたりする時、ややこしいのがチップである。慌てて小銭を **バラバラ** とかき集めるより、チップも含めて Keep the change. とすればシメたもの。例えばタクシーの降り際などに、運転手にお金を渡しながらサラリとこれと言えるようになれば、あなたはもう「旅馴れたもんザンス」と、**余裕の微笑み** なんてである。但し、くれぐれも「お客さん、釣りどころか、これじゃ全然足りないんですけどお」なんて言われて恥かかないように、計算はきちんとしといてね。

Keep your shirt on/キープ・ユア・シャツ・オン…… 落ち着いて

直訳すれば「シャツは着ておけ」。これは別に、酔っ払って裸踊りをしようとする友人を「お前の **ハダカ** なんか見たくないじゃ〜！」と必死で押しとどめようとしている時のみ使うとは限らない。ケンカっ早い人間が、今にもシャツを脱ぎ捨て飛びかからんばかりの様子を思い浮かべてみたら、この言葉のせっぱつまった意味がよくわかるだろう。Keep your shirt on のほかに **Calm down** や **Chill out** なんか「まあ、落ち着いてヨ」に使えます。

Kill that noise/キル・ザット・ノイズ…………… 静かにしろ

kill (殺す) という単語、おっかないけど使いようによってはとっても便利。消したいもの、無くしたいもの全てこのkillひとつで **間に合ってしまう** んである。例えば Kill that noise. で「静かにしろ」。Kill that light. は「電気を消して」。したがって、Kill the radio. と言われてラジオを **叩き壊そう** としたならあなたは **大ボケ**。これは素直に「ラジオを消して」です。では I'm killing my time. は? ハイ、「私、ヒマつぶしてるの」が正解。んじゃトドメの Killing beauty はどうだ! お待たせ男性諸君。これが噂の「**惱殺美女**」で〜す。

・ I mean it, she's a real KILLING BEAUTY.
 (ホントだよ、彼女こそ本物の“惱殺美女”さ)

Kind of/カインド・オブ…………… まあね

出ました、日本人お得意の曖昧言葉。全てイエス・ノーで白黒ハッキリつけなきゃ許さんという英語表現にだって、こんな **テキトー** な相槌が存在したのだ。あ〜ホッとしたって? では、ズバリと答えたくない時のモノ言いをいくつかご紹介。Sort of. (ま、そんなとこね) や What do you think? (う〜ん、どう思う?), 極めつけは yes and no. (そうでもあり、そうでもなし) でいっところ。

・ So you're staying with her all night?!
 (じゃオマエ、あの娘と一晩中いっしょにいたってわけ?!)
 ・ Ah〜…、yes and no!
 (いや〜、そうかも。でも、そうじゃないかも!)

KISS/ケイ・アイ・エス・エス…………… 単純明快に

この場合の KISS が、すべて大文字で書かれていることに注意。だから声に出して読む時は“ケイ・アイ・エス・エス”となり、“キッス”と読んだら間違いである。さて、「物事はなんでも **KISS** でいこう!」と言われて、思わずニヤけてしまった人はいるかな。それって大きな誤解よ。KISS とは「**Keep It Simple and Stupid**」の略。つまり「限りなく簡単に、バカみたいにシンプルにいこう」ってことなのだ。そろそろ会社にも馴れてきたフレッシュマンの諸君は、この言葉を胸に頑張ることをオススメ。

Knock on wood/ノック・オン・ウッド…………… 幸運を祈る

第三者に対して「幸運を祈る!」と激励する時には **Good luck!** がもうお馴染み。いっぽう Knock on wood のほうは、よい結果が出て欲しいと望む時や、この幸運がずっと続きますようにと願う時なんか言う言葉。また、ジェスチャーとしては、身近にある **木で出来たもの** をコンコンと叩くこともある。「スピード」で来日したキアヌ・リーブスが、記者会見上で「この作品に出られて本当にラッキーだった」という類の話をしながらコンコンと机を小さく叩いていたが、それにはこんな意味があったのだね。

…………… **Knockout/ナックアウト** ……………

ムチャクチャに **マブイ** 女

She is a knockout.
 (彼女はトビキリの女だ)
 意識を失うほどの美人のことで、あまり軽たく使ってしまうと逆にとどめなくブスの意味にとられてブツ飛ばされ、本当にノックアウトされるハメになるかも。



Seattle.NY.LA.Kyoto



ケニー・松村

エスプレッソ・アメリカーノ

〒606 京都市左京区下鴨北山宝ヶ池通上ル西側
Tel.075 (702) 2666